

東部大阪都市計画ごみ焼却場  
四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る  
事後調査報告書

(平成26年7月分水質調査結果報告書)

平成26年12月

四條畷市交野市清掃施設組合

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地  
 事業者の名称 四條畷市交野市清掃施設組合  
 代表者の氏名 管理者 四條畷市長 土井 一憲  
 主たる事務所の所在地 大阪府四條畷市大字清滝 1 0 5 1 番地
  
2. 対象事業の名称  
 東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業
  
3. 事業計画地の位置  
 大阪府交野市大字私市 3 0 2 9 番地外
  
4. 対象事業の実施状況  
 対象事業の実施状況及び今後の予定を表 1 に示す。

表 1 対象事業の実施状況及び今後の予定

月 工事内容		6月	7月	8月	9月
		準備工	伐採・除根 測量		
造成工	切盛覆土工				
擁壁工	地盤改良工	→			
	築造工				→
進入路 工	路床工				
	舗装工				
濁水 処理工	施設設置工	→			
	運転工				
排水工	沈砂池工	→			
	排水施設工				→
道路 拡幅工	擁壁工				
	拡幅工				→

5. 事後調査の内容

調査項目、調査地点を表2に示す。また、調査地点の位置を図1に示す。

7月は、排水口（敷地内排水最終柵）の施工中であり、調整池は、改修中のため、調整池貯留水が工事に支障をきたす場合に、貯留水を濁水処理装置にて処理後、処理水を天野川へ放流したため、排水口（敷地内排水最終柵）での水質測定を実施せず。

表2 調査項目、調査地点

調査項目		調査地点	調査期間及び頻度	調査方法	調査実施日
水質	pH、濁度	調整池出口	時期：工事期間 頻度：常時監視 (2回/日)	公共用水域及び地下水の水質測定計画に示された方法等	表3のとおり
	SS、ダイオキシン類	排水口 (敷地内排水最終柵)	時期：工事期間 頻度：6回/年		—
	健康項目（ベンゼン・砒素・鉛・ふっ素・ほう素）、濁度、電気伝導率	河川 (天野川下流)	時期：工事期間 頻度：粗造成工事時並びに熱回収施設及びリサイクル施設の掘削工事時(1~24ヶ月目予定) 1回/月 その他の時期 6回/年		平成26年 7月1日 (河川(天野川下流)) (注1)
地下水	健康項目（ベンゼン・砒素・鉛・ふっ素・ほう素）、ダイオキシン類	観測井2地点 周辺井戸1地点	時期：工事期間 頻度：4回/年	—	
騒音 振動 低周波音	建設作業騒音 建設作業振動	敷地境界（民家側2地点）	時期：工事の最盛期 頻度：平日1回 (時間帯：8~17時)	騒音：JIS Z8731 振動：JIS Z8735	—
	発破工事時の騒音 レベル・振動レベル 低周波音の音圧 レベル	周辺住居（4地点）	時期：発破工事期間の実施開始時 頻度：平日1日2回 (時間帯：8~17時)	騒音：JIS Z8731 振動：JIS Z8735 低周波音：「低周波音の測定方法に関するマニュアル」に準拠	—
廃棄物	種類、発生量 再生利用量、処分量	工事現場	時期：工事期間 頻度：1年間（年1回）	廃棄物の処理実績を集計	—

大気質 騒音・振動 人と自然と の触れ合い の活動の場	工事車両交通量	工事区域	時期：工事期間 頻度：2日/年 (最大工事時)	事業計画地の入口で カウントする	—
---	---------	------	-------------------------------	---------------------	---

※ 水質及び地下水に係る調査の開始は、土地改変に係る工事の着手時

注1 排水口（敷地内排水最終柵）については、濁水処理装置にて処理後、放流のため測定せず。

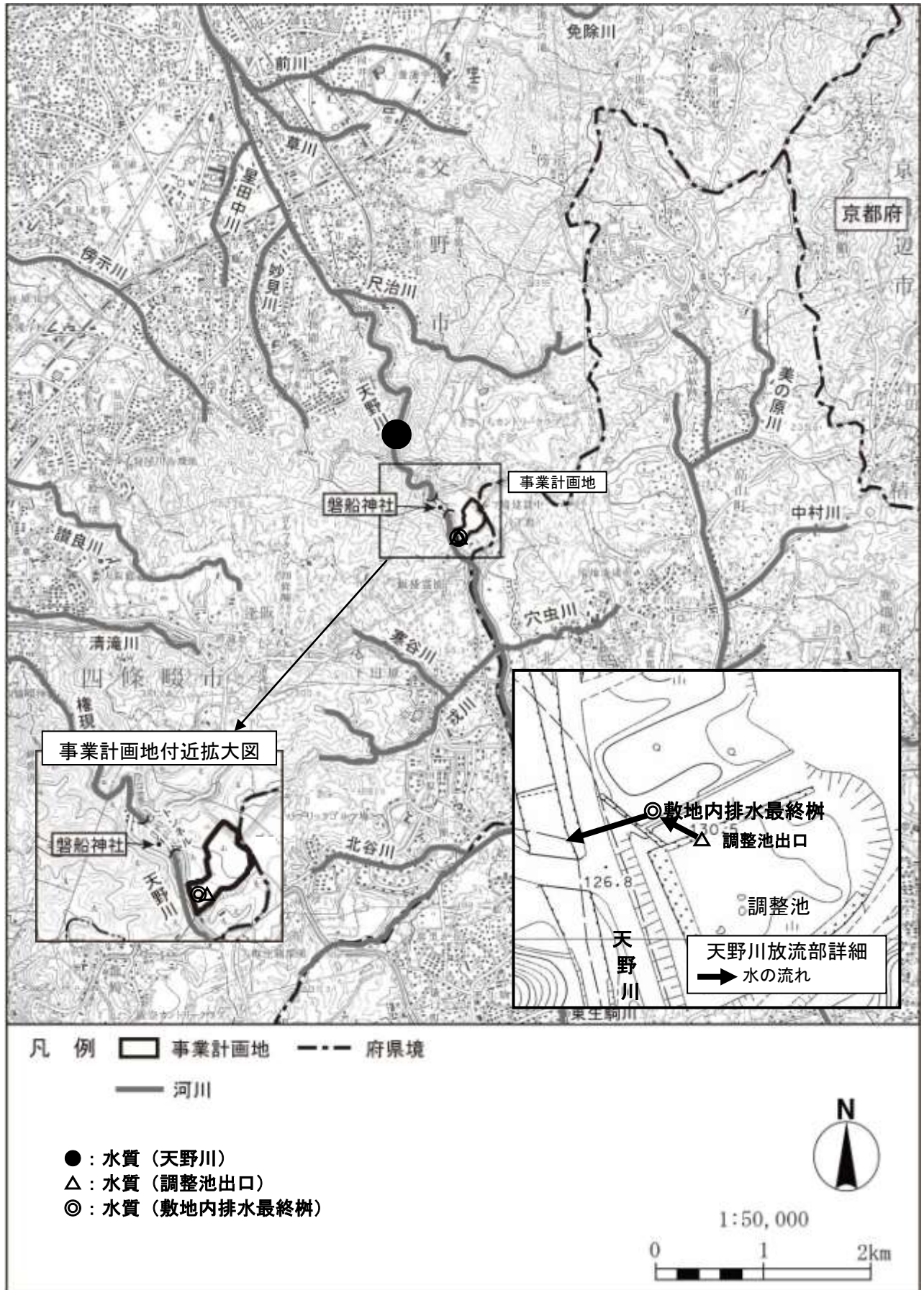


図1 調査地点 (水質)

## 6. 調査結果

### (1) 水質

調整池出口及び河川（天野川下流）において、水質測定を実施した。

調整池出口については、7月3日の濁度の測定結果が管理値25を上回っていたこと及び調整池貯留水が工事に支障をきたす場合に、貯留水を濁水処理装置にて処理後、処理水を天野川へ放流したことから、7月3日以外は測定を実施せず、参考値として濁水処理装置にて処理後のpH、濁度の測定を実施した。

排水口（敷地内排水最終柵）については、調整池貯留水を濁水処理装置にて処理後、処理水を天野川へ放流していたことから測定を実施せず。

#### ① 採水日

調整池出口	表3のとおり
排水口（敷地内排水最終柵）	実施せず
河川（天野川下流）	平成26年7月1日

#### ② 測定結果

調整池出口の測定結果を表3に、河川（天野川下流）の測定結果を表4にそれぞれ示す。

表3 測定結果（調整池出口）

地点	調査日	pH		濁度 (度)		SS (濁度換算値) (mg/L) 注1		濁水処理装置の稼働の状況				放流 の 有無	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	pH 注3		濁度 (度) 注3			
								最低値	最高値	最低値	最高値		
調整池 出口	1日	—	—	—	—	—	—	7.2	7.6	1.8	13.0	有	
	2日	—	—	—	—	—	—	7.2	7.6	1.8	5	有	
	3日	7.76	—	60.7	—	36	—	7.2	7.4	2	6	有	
	4日	—	—	—	—	—	—	7.2	7.6	2	4	有	
	5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	6日	—	—	—	—	—	—	7.25	7.5	2	9	有	
	7日	—	—	—	—	—	—	7	7.8	1	8	有	
	8日	—	—	—	—	—	—	7.1	7.2	1	6	有	
	9日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	10日	—	—	—	—	—	—	7.1	7.2	2	5	有	
	11日	—	—	—	—	—	—	7.1	7.3	1	4	有	
	12日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	13日	—	—	—	—	—	—	7.2	7.3	2	8	有	
	14日	—	—	—	—	—	—	7.2	7.3	2	8	有	
	15日	—	—	—	—	—	—	7	7.3	2	10	有	
	16日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
	20日	—	—	—	—	—	—	—	7.2	7.4	2	18	有
	21日	—	—	—	—	—	—	—	7.2	7.4	2	14	有
	22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	23日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	24日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	25日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	26日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	27日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	28日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	29日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	30日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
	31日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無
管理値		5.8~8.6		25以下注2		60以下							
測定回数		日2回（常時監視）											

注1：SS（濁度換算値）とは、濁度の値からSSを算出した値である。管理値の欄の60mg/Lは、工事中の濁水における管理目標である。

注2：濁度の管理値は、疑似試験結果から求める値で、事後調査結果に応じて適宜見直すものとする。

注3：当該数値は、濁水処理装置での処理後の測定値である。

表4 測定結果 (河川(天野川下流))

区分	調査項目(単位)	天野川下流	水質管理目標
現地調査項目	調査日 (-)	7月1日	-
	調査時刻 (-)	14:30	-
	色 (-)	透明	-
	外観 (-)	浮遊物なし	-
	臭い (-)	無臭	-
	流量 (m <sup>3</sup> /S)	5.6	-
	水温 (°C)	25	-
	透視度 (度)	30	-
生活環境項目	pH (-)	8.0	6.5~8.5
健康項目	鉛 (mg/L)	0.005未満	0.01以下
	砒素 (mg/L)	0.001未満	0.01以下
	ふっ素 (mg/L)	0.15	0.8以下
	ほう素 (mg/L)	0.05未満	1以下
	ベンゼン (mg/L)	0.001未満	0.01以下
その他	濁度 (度)	1	-
	電気伝導率 (mS/m)	22.4	-

③ 結果の検証

河川(天野川下流)の測定結果は、すべての項目が、水質管理目標を満足していた。また、調整池出口の濁度が管理値25を上回っていたことから、濁水処理装置にて処理後、管理値以下に濁度を低減してから、天野川への放流を実施した。